第 11 回 函南町史跡箱根旧街道災害復旧整備委員会議事録（要旨）

日 時 令和 7 年 3 月 11 日（火） 午後 2 時から午後 4 時 30 分まで

会 場 函南町文化センター 2 階 会議室 4
史跡箱根旧街道甲石坂

出席者 山内委員長、本多副委員長、堀内委員、天野委員、杉山委員
オブザーバー

小柳所長（国土交通省中部地方整備局 沼津河川国道事務所 沼津国道維持出張所）
石橋建設専門官（国土交通省中部地方整備局 沼津河川国道事務所 道路管理第一課）
近藤学芸員（三島市教育委員会 教育推進部 文化財課）
鈴木郷土資料館長（箱根町教育委員会 生涯学習課 郷土資料館）
野澤課長（函南町建設経済部 建設課）

事務局

森田生涯学習課長、佐藤主査、戸田
久保田教育長（別公務のため途中退席）
株式会社フジヤマ（大塚部長、蒔田技師）

欠席者

仁菅委員
中井調査官（文化庁文化財資源活用課 整備部門）
大谷班長（静岡県スポーツ・文化観光部文化財課）
小林主査（箱根山殖産林組合）

1 開会

2 教育長挨拶

今回の委員会を以て、5 年間にわたる函南町史跡箱根旧街道災害復旧整備委員会は最後となる。山内委員長をはじめ委員の皆様、オブザーバーの皆様には 5 年間にわたり、史跡箱根旧街道災害復旧事業に対し、多大なるご尽力を賜りましたことを、この場をお借りし、心よりお礼申し上げます。

※挨拶の後、別公務のため久保田教育長退席。

3 委員長挨拶

4 協議事項

一般開放に係る懸案事項

前回委員会から継続協議となっていたボトルユニットの階段設置計画案について、ボトルユニットの脇に通路を設ける案については、地権者の了解が得られなかったため、

断念したことを報告した。本委員会で提示する計画案は事前に文化庁調査官の確認を頂いている旨を報告したうえで、委員の意見を聴取した。

1) 工法

工法について事務局より説明。

- ・階段の構造は仮設階段を流用する。ボトルユニットの上下流に設置する。
- ・支柱を史跡指定地外に打ち込み、単管に掛ける形式で保持する。
- ・石畳に接する箇所は不織布等を敷き、石畳に及ぼす影響を軽減する。

委員からは単管の突出部にカバーが必要との意見があり、安全面の上から事務局で検討する旨を回答した。また、固定用の杭を打ち込む位置に埋もれた石畳がないかとの質問があり、予定地は史跡指定地外の町有地であり、石畳の遺存は確認されていないと回答した。

仮設階段の幅について質問があり、すれ違いや介助者の同伴等を考慮し、階段通路幅の設計を1列から2列へ変更するなどの配慮が必要との意見があり、検討する旨を回答した。

2) 設置期間

委員から仮設階段の設置期間について質問があった。事務局としては本整備事業の完了までとしたいが、雨水処理問題が未解決であることから事業実施時期は未確定としたうえで、設置期間についての明確な回答は避けた。

委員からは時期が未定であれば利便性を考慮した階段通路幅と手すり部分のカバー、耐久性を考慮した人数制限の表示を検討するよう意見があった。

事務局としては、委員の意見を踏まえ設計に反映させる旨を回答した。

5 報告事項

災害復旧整備工事の進捗状況、文化庁視察（2月27日実施）について事務局より報告した。

委員からは今後の箱根旧街道の維持管理について、どう維持していくのかを具体的に示し、予算化していく必要があるとし、予算がないため維持されない場合もあるため必ず予算を確保し、町の方でも共通認識として持つよう意見があった。

事務局としても文化財の保存と活用を図る担当部署として予算要望はしていきたい旨を回答した。

また、一般開放については台風や大雨の影響を見極め、令和7年度の安全対策工事が完了する秋以降としたいが、本日の現地視察をした後に改めてご意見を頂戴したい旨を説明した。

3 現地視察

箱根旧街道甲石坂の視察を実施。工事の進捗状況と災害発生要因について、改めて

委員及びオブザーバーに説明した。

ボトルユニットの現況を視察いただいたうえで、改めて計画案について協議を実施した結果、協議事項での意見を反映させた最終案を事務局でまとめ、文化庁の承認を得たうえで工事を進めることでした承された。

また、一般開放の時期に係る判断は事務局に一任され、決まり次第委員及びオブザーバーに報告することでした承された。

6 連絡事項

災害復旧整備事業は令和7年度の安全対策工事の完成を以て終了となる。

5 閉会（森田課長）

本日は長時間にわたりご臨席いただき、感謝する。

また、5年間にわたり災害復旧整備事業にご尽力賜りましたことを、心よりお礼申し上げます。本日頂戴した貴重なご意見は、今後の維持管理や活用の場面で反映させていただきたく、また皆様には、引き続きお力添えを賜りたい。

これにて閉会とする。